

令和2年度 第3回 子ども権利委員会会議録

- I. 開催日時：令和3年2月4日（木） 15時～16時30分
- II. 場 所：総合福祉センター ふれあい 101会議室
- III. 出席者：子ども権利委員会 委員長、副委員長、委員6名
事務局：福祉子ども部長、子ども家庭室要保護対策担当室長、
保育幼稚園室長、保育幼稚園室員1名、
子ども家庭室員1名、子ども相談員
- IV. 内 容：(1) 子ども・子育て支援法に基づく利用定員の協議について
(2) ぱりっ子すくすく計画（第5次：R4～R6）策定について
(3) その他
・（仮称）相談室へのお手紙について

【質疑・意見交換】 □：委員長 ○：委員 ⇒：事務局

(1) 子ども・子育て支援法に基づく利用定員の協議について（資料1）

【保育幼稚園室 山岡室長より説明】 *省略*

(2) ぱりっ子すくすく計画（第5次：R4～R6）策定について（資料2）

【事務局より説明】 *省略*

- ありがとうございます。アンケートの実施で、例年では小学2年生も対象であったのですが、諸般の事情により、今回は5年生と中学2年生に限ったアンケートということになります。皆様のご意見をいただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。
- 3年ごとの調査をずっとしてきて、子どもの成長につれてどのように変わるのか継続して見ていくという話で、今回小5、中2にしてしまうとそれが切れてしまうのではないかという疑問がひとつ。もうひとつは、一人一台タブレット端末を持つことになって、子どもたちは低学年でもそれを使いこなせている感があるのですが、このアンケートはマークシートになっていて、タブレットを使ってオンラインでやってもらうほうが、お互いに楽なのではないかなと思います。どうでしょうか。
- ⇒ そうですね、アンケートの対象が変わってしまうという点はあるのですが、

継続性だけではなく、この「5年生と中学2年生という年代」でアンケートを実施したいと思っています。ですので、この形で進めたいと思っています。タブレットについては、中学生もこの数日くらいで整ってきた環境もあるのですが、紙のアンケートは確かにちょっと無駄でもありますが、学校の方でも紙の方が渡しやすいかなとも考えておりますので、ペーパーで進めたいです。

- 小学校の学校アンケート、保護者が答える分なんですけど、オンライン回答ができるようになっていたので、マークシートで回答というのが私には違和感があったのですが、学校の方はどうなのでしょう、先生。
- 教育委員会、学校とも可能なのか一度相談させて貰えたらなあとは思いますが。
- ただ、子ども家庭室でそのシステムというか、集計できるプログラムを作らないといけないかなと思います。
- Google フォームでできますよ。このアンケートの量なら簡単なのではないかな。だから、これを今、紙で出すと子どもたちからは逆に何で？と言われそうな気がします。子どもは扱えるんですよ、慣れているので。
- ⇒ 昨年度はタブレットが無かったので、紙での話だったのですが、一人一台のタブレットでということであれば、教育委員会とも話し合っていきたいと思っています。

委 広報等で発表する際に説明をきちんとしていただけたら良いかなと思いますので、宜しくお願い致します。

- 子どもたちの意見が書きやすいように、できるだけ枠を大きくしてもらえたらと思います。枠からはみ出るのを嫌がる子どももいますので。自由記述欄は大きくしてあげて欲しいです。

委 いろんな意見も出やすいかもしれませんね。

⇒ はい。

委 「あなたは1日3回食事をしていますか」という質問は、どういう意図なのか、説明していただけたらありがたいのですが。

⇒ 子どもの貧困がクローズアップされている中で、1日3回食事をとれているか、かつ、どのタイミングで食べているのかということも把握したいので、質問を設定しました。

- この質問だと、たぶん平日の事を想定しているんですよね。学校の給食が1回分であるけれども土日は食べていないとか、子どもが迷う質問ではないかと感じるの、そのあたり子どもが答えやすい質問を考えていただけると。
- 学校がある日とか、給食がある日とか、そんな文言があるとわかりやすいかなと思います。
- 貧困だけではなく、子どもの生活リズムというのか、夜ゲームをしすぎて朝

起きられなくて、朝ごはんも食べられずにそのまま学校へ行くって子どもも結構いるんです。食事は貧困も含めて生活そのものが見えてくる、良い質問だと思います。

- たとえば、朝も夕も食べないという子どもが出てきたとき、学校としたらもう貧困のレベルではないですよ。これを把握した時点で学校としては動かないといけないという意識がありますので、ちょっとドキッとした質問だと。とても深い質問だと思います。
- 食事をお菓子で済ませている子どもがいたり、昼も夜もカップ麺という子どもがいたり、食事というとらえ方が、私たちと子どもたちの間にはすごい差がある、ということも意識しないとダメなんじゃないかと思います。

委 ありがとうございます。ほかにはありませんか。では次の議題に移ります。

(3) その他 ・ (仮称)相談室へのお手紙について(資料 3)

【事務局説明】 *省略*

- 委 ありがとうございます。ご質問はありませんか。
- この相談へのお手紙って、うれしかった事も子ども相談室へお手紙書いて良くなってことですよ。
 - ⇒ そうですね。子どもさんが相談できるのが、基本、面談か電話となるのですが、それを補完する意味で手紙という手段を考えておりまして、何でも相談出来ますよというスタンスで取り組んでいこうと思っています。
 - 相談室へのお手紙となると、子どもたちが困っていて誰かに相談したいので、お手紙を書きましたと捉えてしまったのですが、嬉しかったこともお手紙に書いてよかったんですね。
 - ⇒ ほっとラインを配る時に、うれしかったことも電話でお話ししてね、と案内しています。
 - このうれしかった事というのを、私は手紙で書いてもらっても良いのではないかと思います。相談室ってどんなところ？と子どもたちが思っている時にマイナス面ばかりでなく、プラス面も相談して、そのやり取りの中で気付く可能性もあると思います。打ち解けてきてはじめてしんどいことが引き出せることもあると思います。うれしかった事でもなんでも聞きますというスタンスでないと、そこから問題点を見つけていくことも難しくなってしまう。
 - 小学 3 年生ぐらいまでの子どもは「相談」という意味が解らないのではないかなと思うんですが。相談室と言われても、イメージが湧くかなあ、それ何？っていう風にならないかなと気になります。

⇒ 配るタイミングも考えていまして、幼稚園、保育園から上がってきた子がいきなりではちょっと無理があると思いますので、5月頃でしたら、文字を書くことにも慣れてきているころかなと。学校からのフォローも少し必要かもしれませんが、協議・調整のうえ、進めていけたらと思っております。

委 「相談室」と言ったら分かりにくいというなら、いっそのこと、「なばりんへのお手紙」というのに変えても良いかもわからないですね。子どもたちが作ったキャラクターを有効に使って、大人と子どもの垣根を取り除いて、率直な子どもの意見を出せるようになっていけばよいのではないのでしょうか。

⇒ 検討してまいりたいと思います。

○ 手紙に小学校何年生って書く欄がありますが、小学校名は書いてもらった方がよいのではないかと思ったんですが、どうでしょう。

⇒ そこは〇〇小学校何年生ということで、学校名も書いてもらうよう欄を作っています。

委 他にはございませんか。

○ アンケートの食事のところ、皆様のご意見を頂いて、いろんな要因で、子育てが、食事が変わってきていると感じるところがあります。子どもたちの食事が回数だけでなく、食べる中身が、買ってきたものをそのまま出されて育ってきている。手がかかっていないというか、ちょっと怖いなあと感じます。

○ 何も用意せずに子どもに無関心でいるよりは、冷凍食品でもなんでも食べさせている方がよい、それでよいと感じます。無関心は虐待につながると感じています。そういう観点でいくと、先ほどのほっとラインやお手紙のお話で、嬉しかった事を何回も何回も送ってくる子どもは、やっぱり何か気になる。

○ それで、ほっとラインに電話したらお話を聞いてくれたよとか、お手紙のお返事が来たよという経験が、誰かに相談するという事に結び付けばよいと考えます。

委 簡単に調理を済ませて、空いた時間を子どものためにつかってもらえたら、それが一番だと思います。他にご意見無いようでしたら、これで終わります。ありがとうございました。

(了)